

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立山手中学校

校長 金山 昌宏

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者及び地域住民等が一定の責任を持って学校運営へ参画し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民等が協働し、「学校づくりビジョン」の実現を図ります。

そのために、本校の運営協議会は、「生徒の実態を把握し協議する」「学校教育活動を地域に広める」「生徒と家庭との関わりを深める」「生徒と地域の関わりを深める」の4つの視点で活動を行います。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**(1) 生徒の実態を把握し協議する**

本校の運営協議会は今年度も4回の会議を計画致しました。各委員には会議開催時に授業を参観していただいたり、体育祭や文化祭などの学校行事を参観していただいたりする中で、生徒の実態を把握していただく予定でしたが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、運営協議会だけでなく主なPTA行事がすべて中止となりました。しかし運営協議会では本校の生活アンケート等の結果や地域からの情報等から、学校の教育活動・経営等の状況について客観的な評価をいただくとともに、学校に対し様々な角度から助言等をいただきました。



【授業参観 (R2)】



【体育祭 (R3)】



【文化祭 (R3)】

(2) 学校教育活動を地域に広める活動

運営協議会の委員さんには年間を通して、学校教育活動に参加したり見学したりすることにより、生徒や教職員の様子を知り、教育活動の内容を理解していただいています。そして、その情報を地域の各種団体や地域の方々に発信していただいています。併せて、地域における日常の生徒の様子や地域の行事や取組に参加する生徒の様子を把握し、その情報を学校と共有していただいています。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために多くの行事が中止となり、例年以上に把握しにくかったと思いますが、「学校の応援団」としての役割を果たしていただき「地域とともにある学校づくり」を進めていただきました。



【池そうじ (R3)】



【海蔵地区文化祭 (R1)】



【大谷台地区住民の集い (R1)】

(3) 生徒と家庭との関わりを深めるための活動

本校は生徒と保護者の関わりを深めるPTA活動が活発です。主な活動として、親子大縄跳び大会、カレー作り、PTA除草作業、PTA研修講座等があります。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の関係で、やむをえず中止となりました。各活動には運営協議会の委員さんにも参加していただき、本校の教育活動をより深くご理解いただいておりますが、今年度もそれができず残念でした。

来年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に講じた上で、保護者・地域の方が安心して来校できる機会を設け、生徒の学校生活をより理解していただけるよう図っていきたくと思います。



【PTA総会 (R1)】



【PTA大縄跳び大会 (R1)】



【PTAカレー作り (R1)】

(4) 生徒と地域との関わりを深めるための活動

本校は各学年で、「総合的な学習の時間」を通して居住する地域を知るとともに、地域に愛着と誇りを持つことをねらいとした学習を実施しています。

1年生は居住する地域について、「自然環境」「くらしと防災」「福祉」「産業」「歴史」「伝統文化」とテーマ別に分かれてのグループ学習や外部講師を招いての講演会などを行う「地域学習」があります。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の関係で、地域学習の施設訪問は中止となり、タブレットを使つての調べ学習になりました。また、各種団体の協力を得て実施している「福祉体験教室」についても中止となりました。

2年生は、地元を中心とする事業所等の協力を得て、「職場体験学習」を3日間実施予定でしたが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の関係で、各職場での体験学習は中止となりました。しかし2月に職業に関する学習として外部より講師を招き、リモートではありましたが、「働くことの意義」についての講話を聴きました。各種団体の協力を得て実施している「地区防災教室」については中止となりました。

3年生は例年、「海蔵川浄化活動」や「若生会との交流」を行っていましたが、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の関係で中止となりました。

全校あげて実施している校区内清掃活動「クリーン大作戦」は、PTA役員・各自治会の協力も得た環境保全学習の一環で、地域へのボランティア活動として根づいているものですが、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の関係で中止となりました。



【地域学習 (R2)】



【クリーン大作戦 (R1)】



【若生会との交流 (R1)】

(5) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

アンケートでは、学校設備に関する意見を多く頂くこととなりました。「来賓玄関の額等が（落下しそうで）危険である」、「学校ネットワーク環境・生徒タブレットの環境が悪い」、「海蔵小と全然違う。公立学校として平等に整備を進めてほしい」、「リモート授業に関する通信環境の改善が必要」等です。これらは、学校生活を送る生徒たちに直接関わるご意見を頂いたと受け止めています。特に、コロナ禍におけるオンライン授業が進む中、生徒たちの学びに対してよりよい学習環境を整えるべきであるという意見については、後述する保護者の方からも多数のご意見を頂いており、設備・運用の両面から改善を図る必要があります。設備面については、市教育委員会への要望を行い、校内的には教職員の研修を通して、より効果的な運用を目指します。

また、「SNS等によるイジメは本当はないのか。生徒の思いを“見える化”していくことが必要ではないか。」といった、生徒指導的な面についてのご意見もいただきました。これまでも生活アンケートや教育相談を定期的に行うことによって、生徒や保護者の思いを受けとめることができるよう努めてまいりましたが、今後も生徒一人一人の姿に目を配り、耳を傾けながら相談し、真摯な姿勢で指導を行わせていただきます。



【安全安心教室(R1)】



【防災教室(R3)】



【福祉体験教室(R1)】

保護者の方からの意見等では、「学校に行く機会が少なくなり、様子がよくわからない」、「体育祭や文化祭について、保護者の参観を実施することはできなかったのか」といった声を数多く頂いております。本年度、市内・県内の新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かいそうな時期もありましたが、波のように訪れる感染の増減は、様々な学校行事の実施可否や開催規模の判断を非常に難しいものとしています。現在、3学期の授業が進められていますが、全国的な感染の拡大が続く中、本校においても陽性者や濃厚接触者にあたる事例がすぐメールでお知らせしている通り発生している状況にあります。保護者の方々に学校での子どもたちの姿を直接見ていただくことができないことに関しては、心苦しい思いはありますが、「生徒の健康と安全を第一にする」本校の方針にご理解をお願いしたいと考えております。

学校設備が老朽化する中で、設備の更新や校舎そのものの抜本的な整備についてのご意見は、本年度だけではなく毎年のようにたくさん声を頂いています。現在四日市市では、各学校施設の改修が順番に進められていますが、本校の改修順については不明です。現在の学校施設を有効に、そして、大切に利活用することができるよう努め、限られた予算の中ではありますが、安全面等を最優先としながら、施設や設備の改善を市教委へ上申していきます。

また、学校の主たる活動である学習（教育）活動については、「成績のつけ方が厳しいのではないか」、「わかりやすい授業になるよう改善していくことができないのか」、といったご意見を頂いています。本年度から全国の中学校で新学習指導要領が完全実施されるようになり、授業や評価の改善が進められています。目に見えるものでは、生徒たちに渡される通知表の観点がこれまでの4観点から3観点に変わり、観点の内容も「主体的に学習に取り組む態度」という項目が新たに表記されるようになりました。目まぐるしく変化する社会に対応するため、中学校での学習内容も日々改められています。暗記力や速く正確な計算力を鍛えるだけでは、

この変化に対応することはできないと考えられています。本校での授業内容も新学習指導要領の趣旨に沿い、論理的思考力の向上等を目指したものとなってきています。その実践のため、授業にあたる教職員の授業力向上を目指し、研修を深めて参ります。また、保護者の皆様には学校と二人三脚で生徒たちの学力向上を図ることができるよう、家庭での学習習慣の定着にご協力をいただきますよう、お願いをします。

生徒からのアンケートでは、「ロッカーを広くしてほしい」、「トイレを使いやすくしてほしい」といった、自身が日常の学校生活で使用する物や設備についての改善要望が多く見られました。この件については、保護者の方へのお返事と同様のものになると同時に、生徒たちには公共物である学校施設を大切に扱うよう、今後も指導してまいります。

授業の内容を充実してほしいという要望もあり、今後は一人一台貸与されたタブレット機器の有効活用等を進め、時代の変化に沿った形で、授業内容を充実させていきます。

一方、「授業時間を短縮してほしい」など、学校の学習基準や設置基準の法的な内容に対する理解は、子どもゆえに理解が及んでいないアンケートも見られました。学校での学びの大切さ、義務教育の意義について生徒一人一人にその意味を伝えていけるよう、教育活動を進めてまいります。

3 今後に向けて

(1) コミュニティスクール（運営協議会）の位置づけの明確化

運営協議会委員だけでなく、教職員・PTA役員・保護者・地域の方々がコミュニティスクールの位置づけや役割を理解し、更なる連携の強化、活動の活性化を進めていきます。そして、学校と地域が協働し、生徒の健全な育成を行ってまいります。「山手中学校区で育ってよかった」と思える生徒を育てていきます。

(2) 明らかになった課題の解決に向けて

① 令和3年度の教育活動も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組を行うことが余儀なくされ、数多くの制限や行事・活動の中止・規模縮小による実施となり、これまでの考え方や様式では通用しないこととなりました。年度当初、授業の遅れを取り戻すことも議題にあがりましたが、学校に通う生徒たちの心と体の安定した成長が一番の心配事でした。学校の通常活動再開後の生徒たちの頑張りもあります。保護者や地域の方々、運営協議会委員の方々のご理解とご協力があり、多くの制約の中においても本校の学校教育ビジョンの達成に向けて取り組むことができました。

運営協議会委員による学校関係者評価では特に、「生徒は、授業をていねいに分かりやすく教えてもらっている」3.3（前年比同）、「生徒は、学校生活を楽しく送っている」3.4（昨年度比-0.1）、「学校は、いじめ等のない温かい人間関係作りに取り組んでいる」3.6（昨年度比-0.1）、「生徒は、社会のルールともに、時や場所に応じた言動や挨拶について学んでいる。」3.3（前年比同）、と示されるように、前年度と変わらない評価をいただくことになりました。本校教職員の行動指針にもあるように、引き続き教師自ら挨拶と言葉がけを日々実践し、地域の方々と共に生徒を見守り、より「笑顔」の溢れる学校づくりを目指していきたくと考えます。

② 山手中学校の周辺には幹線道路が通り、生徒の登下校時の交通量も大変多い状況にあり、加えて学校周辺において登下校時に生徒の人流が集中する箇所もあります。今年度も自転車通学生徒と自動車との接触事故が起きました。また、これまでも小杉地区の交差点や山手通り歩道の通行の仕方等について危険であると指摘されています。そこで今年度も、一斉下校の際に学年別による時差下校を実施しました。懸念されていた交差点での信号待ちによる

生徒の密集が以前に比べて解消されることとなり、安全に下校することにつながりました。今後も引き続き、四日市北警察署や阿倉川交番など関係機関とも連携をとりながら、学級や学年、地区別・全校集会での注意喚起をすると同時に、学校便りや学校HPなどでも情報発信を行いながら、生徒の安全対策を進めていきます。

③ 今年度、山手中学校生の携帯電話やスマートフォンの所持率は約83%で、学年が上がるにつれ高くなっています。今年度もSNSをめぐるトラブルが起きており、ネットモラルに関する指導を継続しています。引き続き運営協議会委員や関係団体と協力し、学校通信やHP等を活用しながら、情報端末機の正しい利用の仕方について啓発活動を続けていきます。

④ 例年のことながら、運営協議会・保護者・生徒・教職員すべてにおいて、学校評価アンケートの「学校施設・設備の環境整備」については、厳しい評価(運営協議会2.4、保護者3.0、生徒3.1、教職員2.6)となっており、特に運営協議会からの評価は昨年以上に厳しいものとなりました。今年度も教育委員会や運営協議会委員の働きかけにより、長年改修要望をお願いしてきた箇所について改修工事を少しずつ進めていただきましたが、昭和40年代に建てられた校舎ですので、使いづらい面が多々あることには変わりありません。今後も市教育委員会に要望するとともに、地域の方々の協力を得ながら危険箇所を優先的に改修するなど、少しずつ改善していきたいと考えています。